

# 上越交響楽団

## 第47回定期演奏会

指揮／山口 哲人



### プログラム

- § サン=サーンス 歌劇「サムソンとデリラ」より バッカナーレ
- § アルチュニアン トランペット協奏曲 トランペット：梅山 英行
- § ラフマニノフ 交響曲第2番 ホ短調

1997年8月30日（土）

18:00p.m.開場 18:30p.m.開演 入場無料

上越文化会館 大ホール

●主催／上越交響楽団

## プログラム

---

### サン＝サーンス／歌劇「サムソンとデリラ」よりバッカナーレ

Camille Saint-Saens(1835-1921) / Bacchanale from "Samson and Delilah"

### アルチュニアン／トランペット協奏曲

Alexander Arutiunian(1920-) / Trumpet Concerto

トランペット独奏：梅山 英行

— 休憩 —

### ラフマニノフ／交響曲第2番 ホ短調、作品27

Rachmaninov(1873-1943) / Symphony No.2 in e-minor, Op.27

第1楽章	<i>Largo - Allegro moderato</i>
第2楽章	<i>Allegro molto</i>
第3楽章	<i>Adagio</i>
第4楽章	<i>Allegro vivace</i>

## 曲目解説

---

### ●サン＝サーンス作曲／歌劇「サムソンとデリラ」よりバッカナーレ

サン＝サーンス（1835－1921）は、生涯に13曲のオペラを作曲したが、この「サムソンとデリラ」は、代表作として広く知られている彼のただひとつの作品であり、古代イスラエルの英雄サムソンに題材をとった音楽作品で、メゾ・ソプラノを主役にした数少ないオペラのひとつである。

イスラエルの民は、異教徒ペリシテ人に蹂躪されてその圧政に苦しみ、ヘブライの神エホバに見捨てられたのではないか思われた。そのとき、イスラエルの若者サムソンは、エホバの神にみいだされた者として、剛勇無双に育っていた。彼は、いたずらに嘆き悲しむイスラエルの民を鼓舞激励し、支配者ペリシテ人の横暴に反抗して立った。力ではかなわぬと悟ったペリシテ人は、美姫デリラをしてサムソンの心を奪わしめ、その力の秘密をさぐらせて虜にしようと図る。

かくしてサムソンはすっかりデリラの恋の虜となってしまうのであった。サムソンの怪力の秘密が暴かれ、牢の中に閉じ込められてしまう。ペリシテ人はダゴンの神殿にて花冠を戴くデリラを囲み、夜が明けて朝がきた喜びを合唱する。つづいて娘たちが軽やかに踊るバッカナーレとなる。これはしだいにテンポを速めてゆき、乱舞のうちに終わる。

この後、物語はクライマックスを迎える。サムソンの運命やいかに．．．。

(H. U)